

資料1 市民意識調査

■平成27年度市政世論調査結果

市政や市民生活に関して、市民の意識、関心や要望の傾向などを把握し、市政を進める上での参考にすることを目的とした調査の中で、生涯学習をテーマとしたアンケートを実施しました。

調査概要

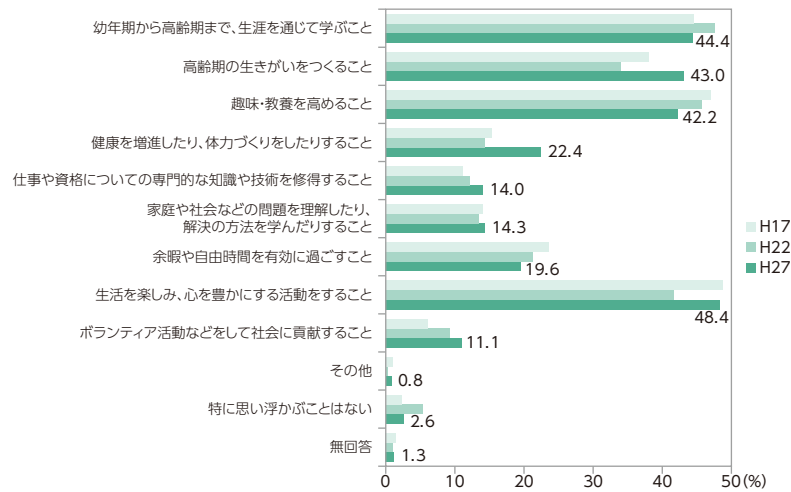
- 調査対象者：住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」で選んだ札幌市全域の18歳以上の男女5,000人
- 調査方法：調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- 調査期間：平成27年（2015年）11月17日（火）～12月1日（火）
- 回収結果：2,764件（回収率55.3%）

【注意事項】

- 図表中の構成比（%）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%になっていない場合がある。
- 単一回答を条件とした設問にも関わらず、複数の回答があった設問については、回答の優先度をつけることが出来ないため、複数回答設問と扱っている。そのため、単一回答設問にも関わらず、比率の合計が100%を超えることがある。
- 1人の対象者に2つ以上の複数回答（「2つまで」、「3つまで」、「いくつでもなど」）を認めた質問の場合、比率の合計は、回答者総数を基数としているので、100%を超えることがある。
- 問4及び問4の1については経年比較をする目的でクロス集計値を記載している。

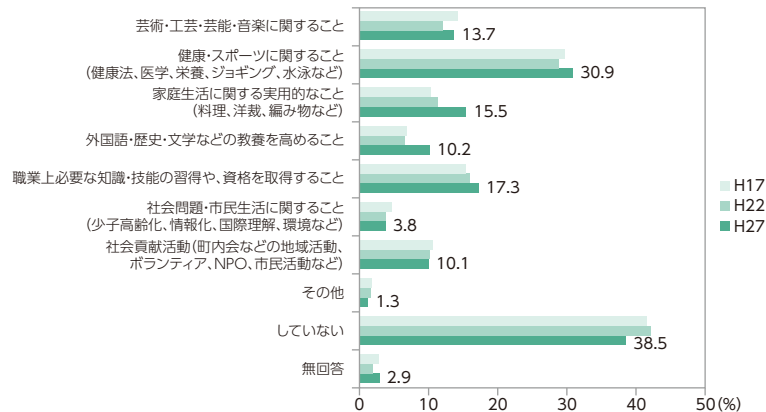
○「生涯学習」という言葉のイメージ

問1 あなたは、「生涯学習」という言葉からどのようなことを思い浮かべますか。次の中から、あてはまるものに3つまで○をつけてください。(H17、22、27)



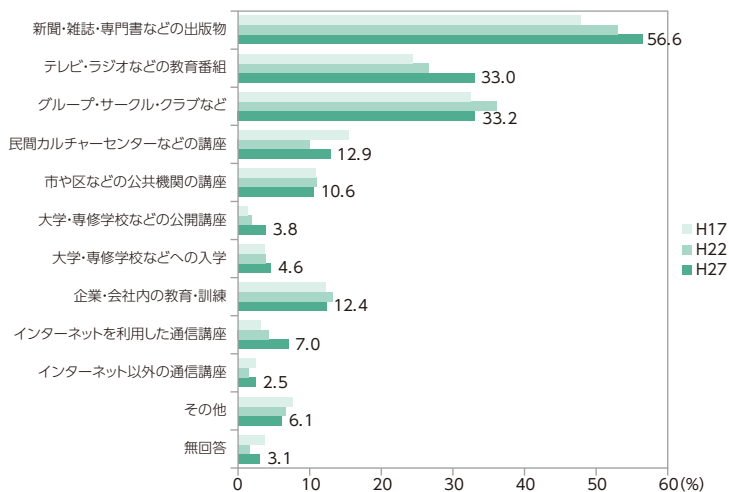
○生涯学習への取り組み

問2 あなたは、いま何かに取り組んで（学んだり、活動したりして）いますか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(H17、22、27)



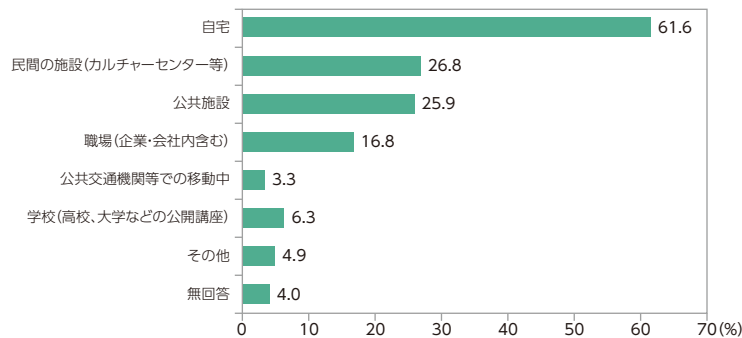
○生涯学習の方法

問2の1 あなたは、どのような方法で、学んだり活動したりしていますか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(H17、22、27)



○生涯学習を行う場所

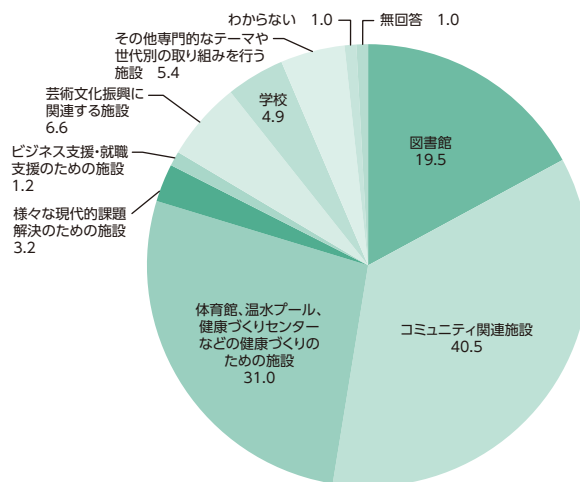
問2の2 あなたは、主にどのような場所でそれらの学習や活動を行いますか。次の中から、あてはまるものに2つまで○をつけてください。(H27)



○最も利用した公共施設

《問2の2で「公共施設」と答えた方にお聞きします》

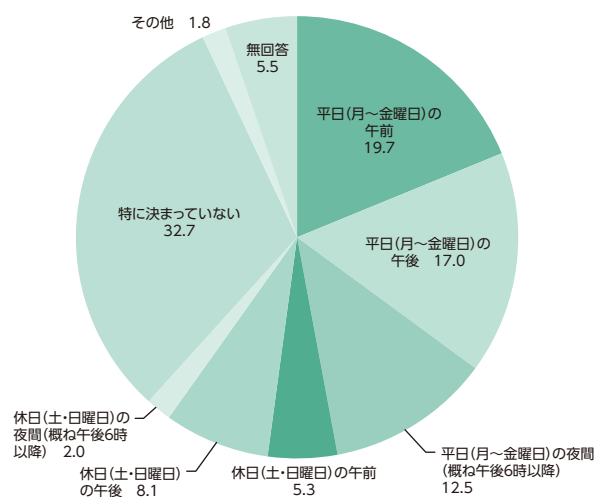
問2の2-1 利用した施設の中で、最も頻繁に利用した公共施設はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(H27)



○生涯学習を行う主な時間帯

《問2で「生涯学習に取り組んでいる」と答えた方にお聞きします》

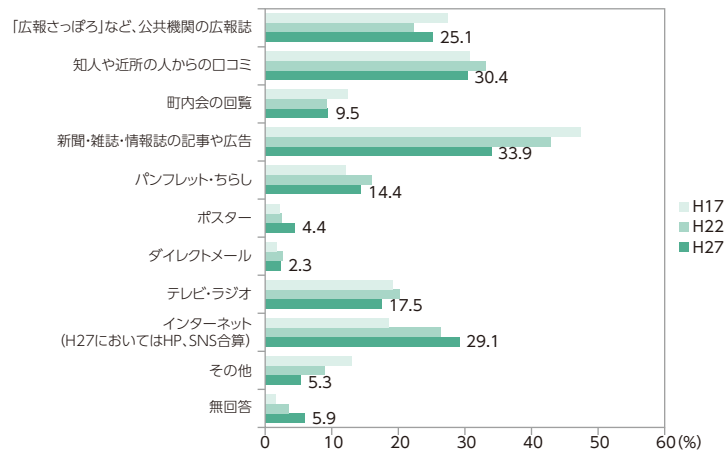
問2の3 あなたがそれらの学習や活動を行う、主な時間帯はいつですか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。(H27)



○学習や活動に関する情報の入手先

《問2で「生涯学習に取り組んでいる」と答えた方にお聞きします》

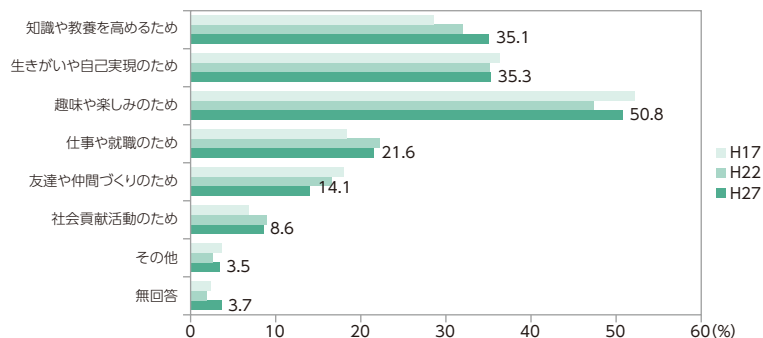
問2の4 あなたは、それらの学習や活動に関する情報を何で知りましたか。次の中から、あてはまるものをいくつでも○をつけてください。(H17、22、27)



○学習や活動の目的

《問2で「生涯学習に取り組んでいる」と答えた方にお聞きします》

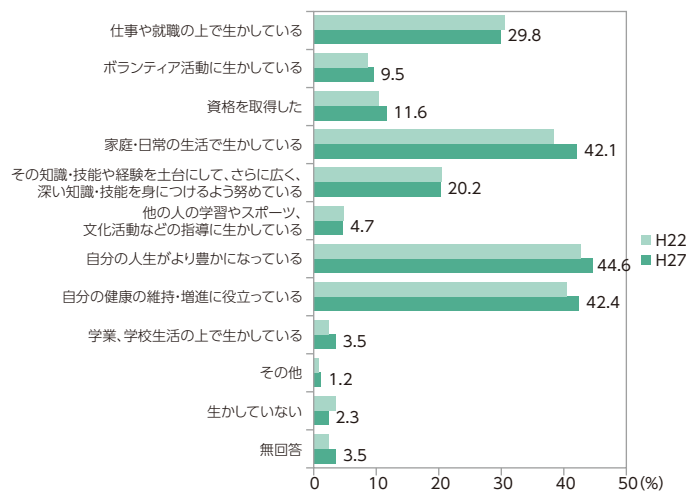
問2の5 あなたは、どのような目的で、学んだり活動したりしていますか。次の中から、あてはまるものに2つまで○をつけてください。(H17、22、27)



○身に付けた知識・技能や経験の活用

《問2で「生涯学習に取り組んでいる」と答えた方にお聞きします》

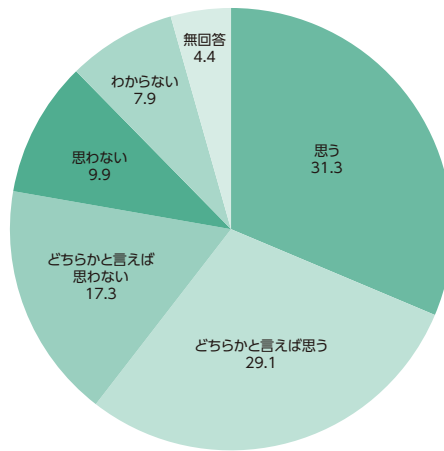
問2の6 あなたは、「生涯学習」を通じて身に付けた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(H22、27)



○身に付けた知識等の仕事や地域活動への活用意向

《問2で「生涯学習に取り組んでいる」と答えた方にお聞きします》

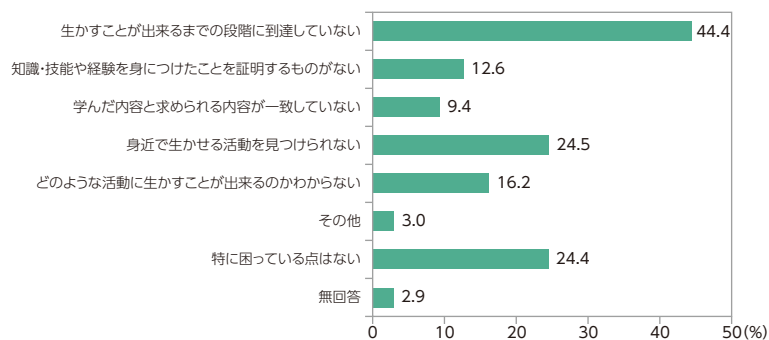
問2の7 あなたは、「生涯学習」を通じて身に付けた知識・技能や経験を、仕事や地域活動に生かしたいと思いますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。(H27)



○身に付けた知識等を仕事や地域活動へ生かすにあたっての課題

《問2の7で「思う」、「どちらかと言えば思う」と答えた方にお聞きします》

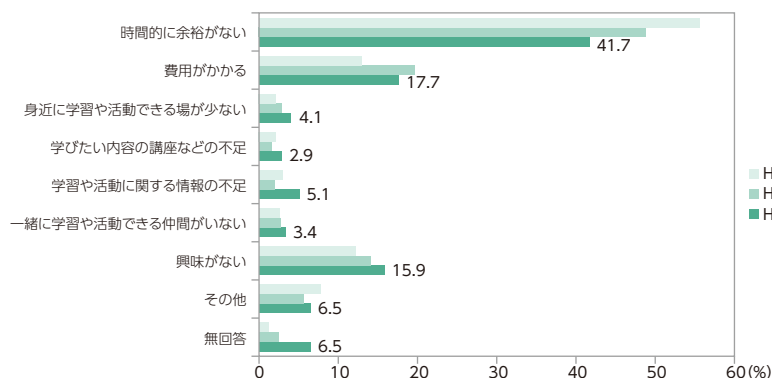
問2の7-1 あなたが、「生涯学習」を通じて身に付けた知識・技能や経験を仕事や地域活動に生かすにあたって困っている点は何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(H27)



○現在生涯学習を行っていない理由

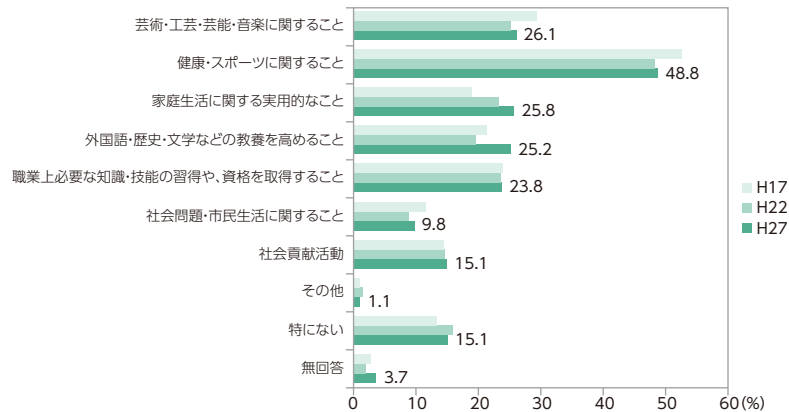
《問2で「していない」と答えた方にお聞きします》

問2の8 あなたが、学んだり活動したりしていない（できない）理由は何ですか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。(H17、22、27)



○今後、学習や活動したいこと

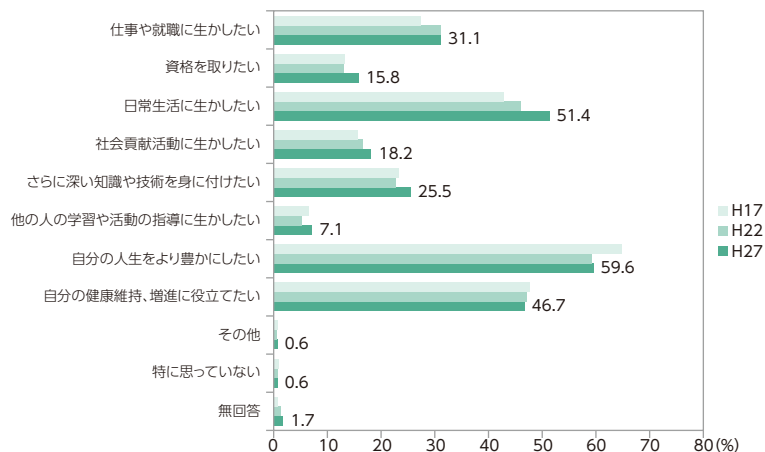
問3 あなたが、今後新しく、あるいは今後も引き続いて学んだり活動したりしたいことは何ですか。次の中から、あてはまるものにもいくつか○をつけてください。(H17、22、27)



○学習成果の活用意向

《問3で「今後学びたい」と答えた方にお聞きします》

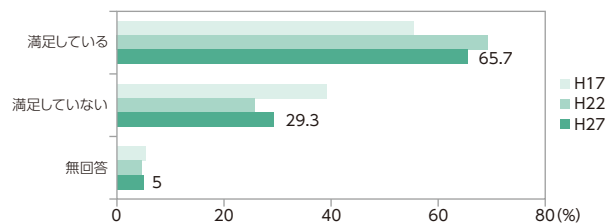
問3の1 あなたは、学んだり活動したりした成果を、どのような形で生かしたいと思っていますか。次の中から、あてはまるものにもいくつか○をつけてください。(H17、22、27)



○現在の学習環境に対する満足度

《問2で「生涯学習に取り組んでいる」と答えた方にお聞きします》

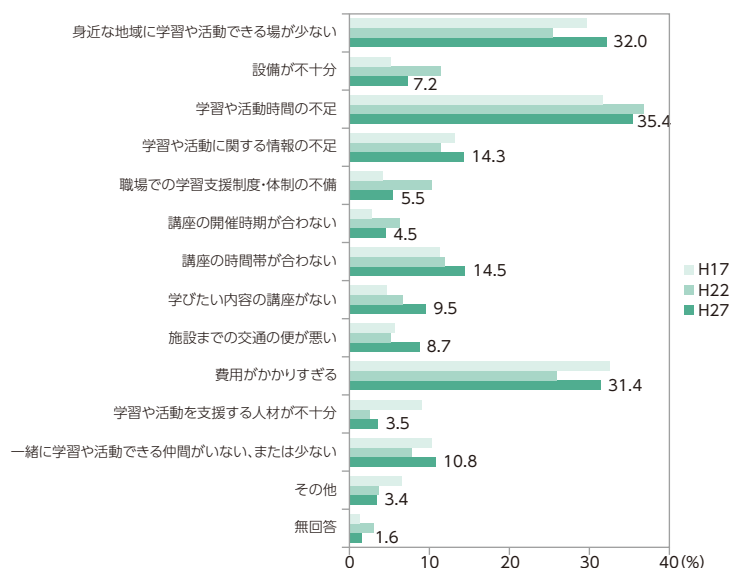
問4 あなたは、現在の学習や活動の環境に満足していますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。(H17、22、27)



○現在の学習環境に満足していない理由

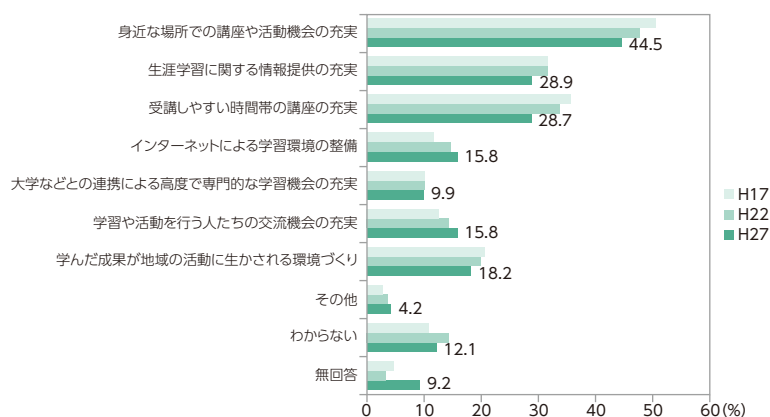
《問4で「満足していない」と答えた方にお聞きします》

問4の1 現在の学習や活動の環境に満足していない理由は何ですか。次の中から、あてはまるものに2つまで○をつけてください。(H17、22、27)



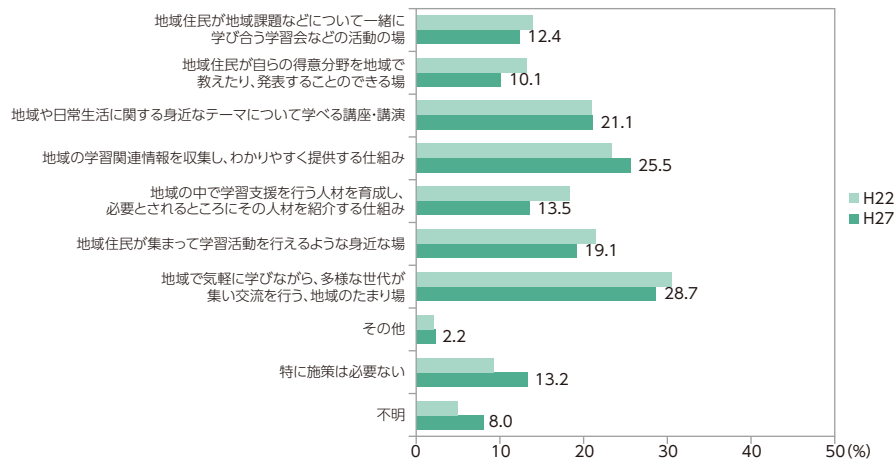
○環境を整えるために必要なこと

問5 学びやすい、あるいは、活動しやすい環境を整えるため、今後何が必要だと考えますか。次の中から、あてはまるものいくつかでも○をつけてください。(H17、22、27)



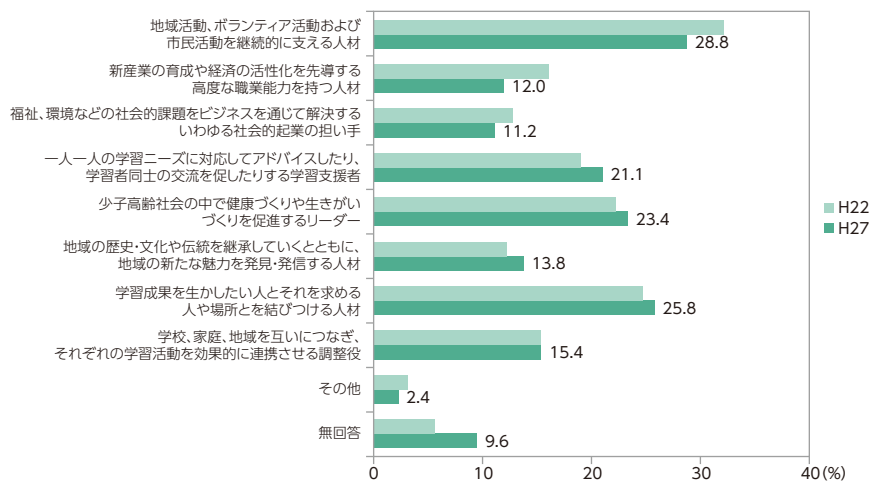
○活発になるために必要な施策

問6 あなたが住んでいる地域（近隣、町内、地区、区など）において、生涯学習がますます活発になるために、どのような施策が必要と考えますか。次の中から、あてはまるものに2つまで○をつけてください。（H22、27）



○どのような人材を育成していくべきか

問7 あなたの生涯学習をより一層充実させるためには、どのような人材が札幌市に必要なだと思いますか。次の中から、あてはまるものに2つまで○をつけてください。（H22、27）



資料2 策定体制

■札幌市生涯学習総合推進本部（庁内での策定体制）

本市における生涯学習関連施策を総合的かつ体系的に推進する内部委員会として平成8年4月に設置された札幌市生涯学習総合推進本部において、構想の内容に関する協議を行いました。

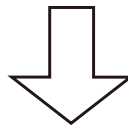
札幌市生涯学習総合推進本部

■役割

- 市民の学習ニーズの把握と全市的調整
- 生涯学習の推進に係る重要事項の検討

■組織

- 本部長 教育委員会を担当する副市長
- 本部員 総務局市長室長、まちづくり政策局長、財政局長、市民文化局長、スポーツ局長、保健福祉局長、保健福祉局障がい保健福祉担当局長、保健福祉局医務監、子ども未来局長、経済観光局長、環境局長、教育委員会担当の副市長が指名する区長、教育長、教育次長（教育委員会担当の副市長が指名する局長に準ずる職員）
計14人
 - 主管本部員 教育長
 - 事務局 教育委員会生涯学習部生涯学習推進課



幹事会

■役割

- 生涯学習関連施策の調整
- 生涯学習関連施策の進捗状況の確認
- 専門部会設置に係る検討・調整
- 総合推進本部に付議する事案の調整・協議

■組織

- 幹事長 生涯学習部長
- 幹事 国際部長、広報部長、政策企画部長、財政部長、地域振興部長、市民自治推進室長、男女共同参画室長、文化部長、スポーツ部長、（保）総務部長、高齢保健福祉部長、障がい保健福祉部長、保健所健康企画担当部長、子ども育成部長、産業振興部長、観光・MICE推進部長、雇用推進部長、農政部長、環境事業部長、環境都市推進部長、本部長が指名する市民部長、学校教育部長、学校教育部児童生徒担当部長、中央図書館長（本部長が指名する部長に準ずる職員）
計24人
 - 事務局 教育委員会生涯学習部生涯学習推進課

第1章

第2章

第3章

第4章

基本施策Ⅰ

基本施策Ⅱ

基本施策Ⅲ

第5章

資料編

■札幌市社会教育委員会議

附属機関である社会教育委員の会議において、第2次札幌市生涯学習推進構想の総括を行いました。(平成27年度)

■札幌市生涯学習推進検討会議（市民・有識者からの意見聴取）

各方面の専門的な見識を持つ有識者や市民の意見を聴取し、第3次札幌市生涯学習推進構想の内容を検討する上での参考とするため、札幌市生涯学習推進検討会議を設置し、協議を行いました。(平成28年度)

(任期 平成28年4月28日～平成29年3月31日)

(五十音順)

氏名	区分	所属団体等
いしい ともこ 石井 知子	社会教育委員 (社会教育関係者)	公募委員
うすい えいぞう 臼井 栄三	有識者	北海道教育大学岩見沢校 芸術・スポーツビジネス専攻 特任教授
かわばた みき (~H28.7.28) 川端 美樹 おおもり よしゆき 大森 義行 (H28.7.29~)	社会教育委員 (社会教育関係者)	札幌市PTA協議会 会長
きた ようこ 喜多 洋子	社会教育委員 (家庭教育関係者)	NPO法人 子育て支援ワーカーズプチトマト
きむら よしこ 木村 佳子	社会教育委員 (学校教育関係者)	札幌市中学校長会 (札幌市立あやめ野中学校 校長)
◎さくま あきら ◎佐久間 章	社会教育委員 (学識経験者)	札幌国際大学 スポーツ人間学部スポーツビジネス学科 教授
ささき くにこ 佐々木 邦子	社会教育委員 (学識経験者)	北翔大学大学院生涯学習学研究科 教育文化学部教育学科 教授
たけかわ かつお 竹川 勝雄	社会教育委員 (社会教育関係者)	公募委員
ひらしま みきえ 平島 美紀江	社会教育委員 (家庭教育関係者)	NPO法人 のこたべ 代表
◎みかみ なおゆき ◎三上 直之	社会教育委員 (学識経験者)	北海道大学高等教育推進機構 高等教育研究部高等教育研究部門 准教授
みさか けいこ 三坂 桂子	有識者	福住小学校地域連携協議会コーディネーター
わだ よしこ 和田 佳子	社会教育委員 (学識経験者)	札幌大谷大学 社会学部地域社会学科 教授

◎議長 ○副議長

資料3 策定経過

平成 27 年 10 月 23 日	社会教育委員会議 (今後 2 年間の協議事項を「札幌市生涯学習推進構想について～2 次構想の検証及び 3 次構想の検討～」に決定)
11 ～ 12 月	市政世論調査で「生涯学習」について市民アンケートを実施
平成 28 年 1 月 29 日	社会教育委員会議 (第 2 次札幌市生涯学習推進構想 基本施策の現状と課題について)
3 月 16 日	社会教育委員会議 (第 2 次札幌市生涯学習推進構想の総括について)
4 月 27 日	生涯学習総合推進本部幹事会 (第 3 次札幌市生涯学習推進構想策定に係る協力依頼について)
5 月 17 日	教育委員会会議 (第 3 次札幌市生涯学習推進構想の策定について)
6 月 10 日	生涯学習総合推進本部関係課長会議 (第 3 次札幌市生涯学習推進構想の基本的方向性等について)
6 月 22 日	第 1 回生涯学習推進検討会議 (第 3 次札幌市生涯学習推進構想の基本的方向性等について)
8 月 12 日	生涯学習総合推進本部関係課長会議 (第 3 次札幌市生涯学習推進構想における施策体系について)
8 月 29 日	第 2 回生涯学習推進検討会議 (第 3 次札幌市生涯学習推進構想の施策体系について)
10 月 24 日	第 3 回札幌市生涯学習推進検討会議 (第 3 次札幌市生涯学習推進構想の素案について)
11 月 9 日	生涯学習総合推進本部関係課長会議 (第 3 次札幌市生涯学習推進構想 (案) について)
11 月 17 日	生涯学習総合推進本部幹事会 (第 3 次札幌市生涯学習推進構想 (案) について)
11 月 18 日	教育委員会会議 (第 3 次札幌市生涯学習推進構想 (案) の概要について)
11 月 30 日	生涯学習総合推進本部会議 (第 3 次札幌市生涯学習推進構想 (案) について)
12 月 12 日	文教委員会 (第 3 次札幌市生涯学習推進構想 (案) について)
12 月 20 日	教育委員会会議 (第 3 次札幌市生涯学習推進構想 (案) について)
平成 29 年 1 月 10 日 ～ 2 月 8 日	パブリックコメントの実施
3 月 9 日	教育委員会会議 (第 3 次札幌市生涯学習推進構想 (案) に関するパブリックコメント手続の実施結果について)
3 月 21 日	第 4 回生涯学習推進検討会議 (第 3 次札幌市生涯学習推進構想 (案) に関するパブリックコメント手続の実施結果について)
3 月	第 3 次札幌市生涯学習推進構想策定・公表

第 1 章

第 2 章

第 3 章

第 4 章

基本施策 I

基本施策 II

基本施策 III

第 5 章

資料編

資料4 パブリックコメント手続

第3次札幌市生涯学習推進構想（案）を公表し、市民の皆様からのご意見を募集し、お寄せいただいたご意見を参考に、当初案を一部変更しました。

1 意見募集実施の概要

(1) 募集期間

平成29年（2017年）1月10日（火）から2月8日（水）【30日間】

(2) 意見提出方法

郵送、持参、FAX、Eメール、ホームページ上の意見入力フォーム

(3) 資料の配布場所

教育委員会生涯学習部生涯学習推進課、市役所本庁舎（2階市政刊行物コーナー）、各区役所（市民部総務企画課広聴係）、各まちづくりセンター、生涯学習センター、各区民センター、各コミュニティセンター、各地区センター、月寒公民館、各市立図書館など

2 意見の内訳

(1) 意見提出者数・意見件数

27人・78件

(2) 年代別内訳

年代	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	合計
人数	0人	0人	6人	3人	3人	7人	7人	1人	27人
件数	0件	0件	16件	5件	7件	27件	18件	5件	78件

(3) 提出方法別内訳

提出方法	郵送	持参	FAX	Eメール	HP	合計
提出者数	1人	1人	7人	6人	12人	27人
構成比	3.7%	3.7%	25.9%	22.2%	44.4%	

※小数第2位以下を四捨五入としたため、構成比の合計値が100%とならない。

(4) 意見内訳

意見区分	件数	構成比
第1章 第3次札幌市生涯学習推進構想策定の趣旨	1件	1.3%
第2章 札幌市の生涯学習を取り巻く現状と課題	7件	9.0%
第3章 第3次札幌市生涯学習推進構想で目指す姿と基本施策	1件	1.3%
第4章 具体的な施策の展開	45件	57.8%
基本施策Ⅰ 学びを生かして未来を創造する人づくり	(18件)	(23.1%)
基本施策Ⅱ 学びで育むつながりづくり	(8件)	(10.3%)
基本施策Ⅲ 学びを支える環境づくり	(19件)	(24.4%)
第5章 構想の推進のために	6件	7.7%
その他の意見	18件	23.1%
合 計	78件	

※小数第2位以下を四捨五入としたため、構成比の合計値が100%とならない。

3 意見に基づく当初案からの変更点

市民の皆さまからいただいたご意見をもとに、当初案から2項目を変更しました。

No.	箇所	意見概要	構想の変更内容
1	P. 24 施策の展開 1 乳幼児期からの育ちを支える 学びの充実	「親が学ぶ機会」の記載のみで「親以外の市民」が「子育てについて学ぶ機会」について触れられていない。親だけが、子育ての責任全てを負うのではなく、「社会全体が子育てについて理解するために学ぶ機会」が必要。(類似意見他1件)	本構想の関連計画である「新・さっぽろ子ども未来プラン」では、社会全体が協力して、子どもの健やかな成長を支えるとともに、子育ての中心的な役割を担う子育て家庭の抱える不安や負担を軽減していく必要性から、計画策定・取組実施にあたっての基本的な視点として「社会全体で支える視点」を位置付けており、本構想と整合性のある視点と認識しております。よって、ご意見の趣旨を踏まえ、修正いたします。
2	P. 35 施策の展開 21 時代の変化に対応した生涯学習関連施設の運営、機能強化	施設名の例示があるが、どのような代表性を持たせているのか。例えば、環境関連施設である札幌市環境プラザやリサイクルプラザでは、既に学びの機会を提供しており、他にもそのような施設はたくさんある。	本項目における施設名の例示は、まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2015において拡充や機能強化が示された点等を考慮し、記載しております。ご意見をいただきました環境プラザについて、「札幌市環境プラザ情報発信機能強化事業」としてアクションプランに掲載されていることから、ご意見の趣旨を踏まえ、修正いたします。また、同様の趣旨で博物館活動センターに関する記載も追加いたします。

4 意見の概要とそれに対する札幌市の考え方

いただいたご意見については、一部要約、分割して掲載しています。

第1章 第3次札幌市生涯学習推進構想策定の趣旨

No.	意見概要	札幌市の考え方
1	全ての個別計画はまちづくり戦略ビジョン実現の手段となるので、「整合性を図る」という書き方では不十分ではないか。	第3次札幌市生涯学習推進構想などの各個別計画は、まちづくり戦略ビジョンの基本的な方向に沿って策定され、推進されるものである旨を「整合性を図る」という文言で示しております。

第2章 札幌市の生涯学習を取り巻く現状と課題

No.	意見概要	札幌市の考え方
1	札幌市としての生涯学習の「目的」はどのようなものか。	第3次札幌市生涯学習推進構想で目指す姿として、「市民の学びとつながりが豊かな未来を築くまち さっぽろ」を掲げております。3つの基本施策を柱として各種施策を推進し、目指す姿の実現に取り組んでまいります。

No.	意見概要	札幌市の考え方
2	P. 5の「生涯学習に求められる事柄」は、様々な社会的課題が全て少子高齢化の進行に起因しているように読み取れる。「少子高齢化の進行に伴う」以外の社会的課題にも対応できる力をつけることが読み取れるような表現に修正する必要がある。	本項目については、図表1～3に関係する事柄として記載しております。「3 札幌市の状況～社会的背景と生涯学習に求められる事柄」の(1)～(5)はいずれも対応すべき社会的課題について言及しているものとして整理しております。
3	「生涯学習」の概念がわかりにくい。「こういったものも生涯学習」という敷居の低い軽いタイプの見本を示すことで、誰もがもっと気軽に取り組めるようになるのではないか。	様々な広報媒体を活用し、生涯学習の概念について市民にわかりやすく普及・啓発に努めるとともに、地域での多様な学びの機会の提供を更に進めるなどの取組を展開することで、市民が気軽に生涯学習に親しむことができる環境づくりを進めてまいります。
4	札幌市が主催する生涯学習の学びの場の多くは有料。生涯学習は営利を目的とするものではなく、「学び」を通して豊かな札幌に変えていくものなので、札幌市に関連する「学びの場」は、無料またはワンコイン程度にしてほしい。	札幌市が提供する学習機会の料金設定にあたっては、事業・取組の目的・効果や民間事業者が行う生涯学習講座とのバランス等の様々な要素を勘案して設定しております。今後も適切な料金設定に努め、学びの場が広がっていくよう、生涯学習の推進に努めてまいります。
5	市政世論調査結果の「学習環境に満足していない理由」の上位の項目である「時間不足」「費用不足」への対応が度外視されている印象を受けた。市民が求めているのは「身近な場」だけではなく、短時間・低費用で良質な学習機会ではないか。(類似意見他1件)	「施策の方向性6 いつでも学べる環境づくり」の各施策を推進し、仕事と子育ての両立を目指すワーク・ライフ・バランスの推進や、経済的な理由から十分に学ぶことができない方々への学びを支援する取組を進めることにより、学びたいと思った市民がいつでも学ぶことができる環境づくりを進めてまいります。
6	同じ札幌市が主催するもので、同じようなタイトルの講習会があちこちで行われている。多様な主体が連携するものや全体を調整する部署があって、学習情報が一元化されると、もっと学習しやすい環境が整うのではないか。	ご意見の趣旨を参考にしながら、「施策の展開17 情報提供・学習相談体制の充実」において生涯学習情報の提供の在り方についての検討を進めてまいります。

第3章 第3次札幌市生涯学習推進構想で目指す姿と基本施策

No.	意見概要	札幌市の考え方
1	「市民の学びとつながりが 豊かな未来を築くまち さっぽろ」とあるが、「市民」を「すべての世代」とする方が良い。	ここで言う「市民」にはご意見の趣旨である「全ての世代」という側面に加え、それぞれの置かれている立場や環境等の違いを超えた市民という側面も有しているため、世代について明記しておりませんが、全ての世代を対象とするというご意見の趣旨は構想を貫く柱となる考え方と認識しております。

第4章 具体的な施策の展開

基本施策Ⅰ 学びを生かして未来を創造する人づくり

No.	意見概要	札幌市の考え方
1	施策の展開1で挙げられた事業例は、主に専業主婦が対象になる傾向にあり、子育てに不安や悩みを抱えてしまいやすい、ひとり親家庭や貧困家庭が排斥されてしまう。子どもの保護者の子育て不安解消としては、教育委員会、保健センター、児童相談所等が提供する相談事業の質の向上が有効。広く市民からの意見を受け、相談事業の改善につなげるシステムが、例のような参加者が限られてしまう事業の推進よりも必要と考える。	教育委員会では、発達に心配のある幼児を持つ保護者を対象にして、幼児教育センター等において相談事業を行っております。また、「新・さっぽろ子ども未来プラン」等に基づき、子育てに関する各種相談事業を進めているところです。いただいたご意見については真摯に受け止め、今後も各施策の推進に努めてまいります。
2	産後の母親の健康支援の視点が記載されていない。予防的な産後ケア、セルフケアの学びの場の提供があっても良いのではないか。	各区保健センター等で行っております教室事業や講習会、訪問指導等で、妊娠期から、産後の母親自身の健康や育児に関する支援を行っております。今後ご意見の趣旨を参考に産後ケア、セルフケアの視点に配慮した学びの場を提供してまいります。
3	高学歴の女性が増えている現在、親が学びたいと思うことは多岐に及ぶ。子育てについてだけでなく、就労を支援するような学習も必要。	ご意見の趣旨である女性の就労支援については、「施策の展開10 まちの活力を高める学びの推進」や「施策の展開15 学び直しなどを支える環境づくり」等において取り組んでまいります。
4	「親」と書かれているが、内容はあくまでも「母親」に限定されているように感じる。父親の子育てについて、また、出産に伴う夫婦関係の変化への対処法といった学びを提供する機会が著しく欠けている。(類似意見他1件)	「施策の展開1 乳幼児期からの育ちを支える学びの充実」で示されている各事業・取組は、父親・母親をともに対象者として想定しております。いただいたご意見の趣旨を参考に、「施策の展開5 現代的・社会的な課題に対応した学習機会の充実」において、男女共同参画を促進する学びについて推進してまいります。
5	子どもの頃から学習習慣を身に付けるために、地域の力で子どもの学びを支えていく環境が必要。	ご意見の趣旨のとおり、地域の力で子どもの学びを支えていく取組は重要だと認識しております。「施策の展開12 地域と学校が連携する取組の推進」におけるサッポロサタデースクール等の取組を通じて地域と学校の協力関係を構築し、子どもたちに多様な学びの場を提供してまいります。
6	自然体験活動をはじめ、青少年を対象とした各種体験活動の充実のためには、その活動の必要性や効果を広く市民に認識してもらうことが重要。またそれらの活動を支援する指導者の育成も必要。	林間学校やなかよしキャンプ、野外教育施設で行われる各種体験活動の必要性・効果について、その取組内容も含め、積極的にPRしてまいります。また、野外教育施設等で行われている指導者向けの講座について、今後も内容の充実に努めてまいります。

No.	意見概要	札幌市の考え方
7	これからは子どもと高齢者がつながる仕組みづくりが必要。学校ぐるみで小中学生が認知症サポーターの資格を取得したり、命の大切さと思いやりの心を育てる「中学生の赤ちゃんふれあい体験」を市内の中学校で実施したりしてはどうか。	ご意見の趣旨については、「施策の方向性4 多世代が関わる学びを通じた絆づくりの推進」等の項目で、取り組んでまいります。また、「施策の展開2 青少年期を育む学びの充実」や「施策の展開12 地域と学校が連携する取組の推進」を進めていくにあたって、ご意見の趣旨を参考にさせていただきます。
8	子どもたちが林間学校などの体験活動・体験学習を経験し、大人になった時にどのような効果があるのか数値化するなどし、その意義を親世代の人たちに認識してもらえような取組が必要。	青少年の体験活動の効果については、中央教育審議会答申「今後の青少年の体験活動の推進について」等で数値が示されているところです。いただいたご意見を参考にしながら、今後も体験活動・体験学習の意義を広めてまいります。
9	特別な場所に行かなくとも、市内の児童公園や学校内での遊具等に工夫を凝らし、2014年に札幌市で開催された芸術祭での「コロガル公園」のように安全に配慮しながらも考えたり、体を使ったり、五感をフル活用しながら体験・体感できるものがあればいいのではないか。	札幌市では、子どもの自主性・創造性・協調性を育むことを目的として、既存の公園などにおいて「規制を極力排除した子どもの遊び場」を地域住民等が開催・運営するプレーパーク（冒険遊び場）を支援しております。いただいたご意見を参考に、今後も取組を進めてまいります。
10	学習者にとって過度の負担にならないかという観点が見え落している。事業例に林間学校、職業体験・文化芸術体験の充実があげられているが、これらにかかる費用は札幌市で全額負担するのか。	生涯学習は各人が自発的意思に基づいて行うことを基本とするものであり、構想は学習者に負担を強いるという主旨のものではございません。また、各事業については、事業ごとに有料・無料の料金設定は異なっており、一例としてご意見をいただいた林間学校につきましては、参加者から料金を徴収し、一定の費用を賄っております。
11	大通高校で行われている学社融合講座は意義のある試みなので、他の高校生にも拡大することが必要。また、土日の公共施設・学校施設を使用する際には社会教育関係者に任せるなど施設管理者との役割の適切な分担が必要。	いただいたご意見の趣旨を参考に、生涯学習の推進に努めてまいります。また、公共施設・学校施設を使用する際の施設管理者については、サッポロサタデースクール事業などの取組を行うにあたって参考にさせていただきます。
12	高齢者の希望が増えているため、事業の例の中に、「市民講座、市民大学制度などの拡大を推進」を追加してはどうか。	超高齢社会において、高齢者の社会参画を推進する視点については重要と認識しております。ご意見の趣旨は各種事業を進める際の参考とさせていただきます。ご意見の趣旨は各種事業を進める際の参考とさせていただきます。「施策の展開4 高齢期を豊かに過ごす学びの充実」の推進に努めてまいります。
13	「札幌市の各部門別計画に基づき、様々な学びの機会を充実させます。」とあるが、NPO・事業者・大学等との連携する趣旨の記載も必要。	ご意見の趣旨である様々な主体との連携については重要と認識しており、「施策の展開5 現代的・社会的な課題に対応した学習機会の充実」ではもちろん、他項目でも重要な視点であることから、包括的な関わりを持つ「施策の展開22 多様な主体が連携した学びの場づくり」や「第5章 構想の推進のために」に記載しているところです。

No.	意見概要	札幌市の考え方
14	一般市民への貸出が不十分かと思うので、事業の例を「体育施設の運営を柔軟に行い、気軽にスポーツに触れることのできる機会の充実」としてほしい。	ご意見の趣旨については、体育施設の運営にあたっての参考とさせていただきます。
15	事業の例にある、「健康に関する学習機会の提供」として、健康寿命を延ばす学習について言及してほしい。	健康寿命を延ばすというご意見の趣旨は、関連計画である「健康さっぽろ21」の全体目標の一つに位置付けられており、「施策の展開6 スポーツ・健康に関する学びの充実」として、構想に含まれているものと認識しております。

基本施策Ⅱ 学びで育むつながりづくり

No.	意見概要	札幌市の考え方
1	事業の例にある、「ご近所先生企画講座などの、市民が学び合う機会の充実」の文章に「共に」を追加し、「市民が共に学び合う機会の充実」としてほしい。	ご意見の趣旨である「市民が共に学び合う」という視点は重要と認識しており、「施策の展開11 学習成果の発表や学びをきっかけにした交流の場の充実」において、市民が共に学ぶことについて言及することで、構想に含まれていると認識しております。
2	基本施策に「学びで育むつながりづくり」とあるが、自分も実践しているところ。	(原案賛成意見)
3	市民が互いに他者貢献することによって人が育ち、つながりが広がるというコンセプトの「他者貢献バンク」を作ってはどうか。バンク登録者が各自の興味・関心に沿った学習支援を行うだけではなく、支援を受けた側が、別のテーマでは学習支援に携わる側となるなど、バンクを通して学びが循環し、仲間が作られるという、登録者が生涯学習の支援の担い手となっていく仕組み。	札幌市では、「学び合い」の場づくりの取組として、市民自らが講師となり、受講生と学び合う「ご近所先生企画講座」や、自身の知識・技能を生かしたい市民の人材バンクである「ちえりあ市民講師バンク」の取組を進めているところです。ご意見の趣旨を参考に、今後も取組を進めてまいります。
4	サタデースクール等の拡大を期待する。地域の小中学校の開放を進めて、児童支援のニーズとシニア世代の生きがい活動とがリンクできる仕組みづくりを期待する。	ご意見の趣旨については、「施策の展開12 地域と学校が連携する取組の推進」のサッポロサタデースクール等の各種事業を進めていくにあたり、参考とさせていただきます。
5	きっかけがあれば社会に貢献したいと思っている方がサタデースクールで活動するにあたって、子どもとのコミュニケーションの取り方や指導方法など、基本的な知識やスキルを身に付けるための研修会があると活動に繋がりがやすくなるのではないか。	「施策の展開12 地域と学校が連携する取組の推進」において、サッポロサタデースクールを支える地域の人材向けの研修は重要と認識しており、ご意見の趣旨を参考に、今後の取組を進めてまいります。

No.	意見概要	札幌市の考え方
6	授業や校務に追われる忙しい教員にも、社会教育の分野を学んでもらい、学校側として地域を受け入れられる土壌を作っていくことや地域の方々と学び合うことの意義なども発信していくことが必要。	本構想の関連計画である札幌市教育振興基本計画においては、教員の資質として、困難な課題に地域と連携して対応できることを重要と位置付けております。いただいたご意見を参考に、今後も教職員の資質・能力の向上に寄与する取組を進めてまいります。
7	地域学校協働答申を踏まえ、市内の小中学校すべてに「コミュニティ・スクール」を導入すべき。地域と共にある学校経営、地域が学校を育て、学校が地域を育て、地域ぐるみで子どもたちを育てる仕組みづくりをすべき。	本構想の関連計画である札幌市教育振興基本計画においては、社会全体で子どもを支えていくため、地域に開かれた学校づくりや、地域住民、企業、大学等の教育機関などがもつ人的資源や技能などの地域の教育力を生かした学習環境づくりを進め、地域と学校の双方向の結び付きを強めていくこととしております。いただいたご意見を参考に、今後も地域と学校が支え合う仕組みづくりに取り組んでまいります。
8	これからは特に地域密着型の学校づくりをしていく必要がある。地域に開かれた学校を目指し、様々な人々との出会いやふれあいの場を設定することで、子どもたちに社会性が身に付き、これからの社会に必要とされる人間づくりの基礎を養うことができる。	ご意見の趣旨のとおり、地域に開かれた学校については重要と認識しており、「施策の展開 12 地域と学校が連携する取組の推進」に関連する事業を進めるにあたり、参考とさせていただきます。

基本施策Ⅲ 学びを支える環境づくり

No.	意見概要	札幌市の考え方
1	施策の展開 15 の記載されている位置に、唐突で浮いている印象を受けた。基本施策Ⅲではなく、「基本施策Ⅰ 学びを生かして未来を創造する人づくり」の「施策の方向性 3 社会で活躍できる力を育む学びの推進」に整理したほうが、わかりやすいのではないか。	本展開項目は、学習機会の内容のみならず、学び直しを支える環境を整える取組も含んでいるため、「基本施策Ⅲ 学びを支える環境づくり」に位置付けております。
2	インターネット上に、市内の様々な生涯学習情報の中から自分にふさわしい情報を容易に探し出すことのできるシステムを作してほしい。	生涯学習情報の提供の在り方については、重要な課題だと認識しており、ご意見の趣旨を参考にしながら、「施策の展開 17 情報提供・学習相談体制の充実」において生涯学習情報の提供の在り方についての検討を進めてまいります。
3	ちえりあ市民講師バンクを拡大し、学校教育の中での活躍が期待できる人材、専門性の高い方々の登録も推進すべき。また、コーディネート機能を充実させることも必要。「札幌市人材バンク」と言えるようになるべく、存在を広報して行くことが大切。(類似意見他 1 件)	いただいたご意見については、「施策の展開 18 学びを支える人材の発掘・紹介、出前講座の展開」を進めるにあたっての課題として認識しております。ご意見の趣旨を踏まえ、多くの市民に利用されるよう、広く周知してまいります。

No.	意見概要	札幌市の考え方
4	コーディネーター能力を持つ方々を発掘し、更に新しい人材を育成していくことが必要。また、活躍できる機会の整備も必要。そのような主旨を「施策の展開 19 学びをコーディネーターする人材の育成・活用」に追記すべき。	コーディネーター役を担う人材については、「施策の展開 18 学びを支える人材の発掘・紹介、出前講座の展開」における「学びを支える人材」に含まれます。よって、コーディネーター役を担う人材の発掘・活用については、同施策の展開項目で記載していると認識しております。
5	現在、札幌市内には小学校を中心に115校の学校図書館が地域に開放されている。その蔵書と総勢3千人はいるマンパワーを最大限に生かすべく、札幌市の重点施策の中に常に位置付け、様々な機会を通して市民に周知し活用を図るべき。よって「学校図書館地域開放事業」の更なる活用の推進を図るという一文を加えてほしい。	学校図書館地域開放事業については、重点施策と位置付けた「施策の展開 12 地域と学校が連携する取組の推進」において、事業の例として記載しております。なお、「施策の展開 20 身近な地域で学びを深められる環境の整備」で引用した図書館協議会の答申の中でも、「生涯学習社会の中で知の拠点としての札幌市図書館が果たすべき役割」として、「市民の自主的、自発的な活動の場」「学校教育へのサポート」が挙げられており、学校図書館地域開放事業の取組が重要になってくるものと考えております。
6	ネット社会で会議・交流・カルチャー情報・ボランティア活動が行われていることを踏まえ、「身近な地域で学びを深められる環境の整備」における「環境」の概念に、ネット社会を加えてほしい。	「施策の展開 20 身近な地域で学びを深められる環境の整備」は、図書館やコミュニティ施設の持つ「学びを深められる」という施設の特性に着目した項目として記載しております。ご意見の趣旨については、施策を推進する上で、参考にさせていただきます。
7	身近な場として「コミュニティ施設」や「図書館」が挙げられているが、自分にとって身近なのは近所のスーパーや会社。もっと市民生活に即した「本当に身近な場」での事業展開を行うべきではないか。	「施策の展開 20 身近な地域で学びを深められる環境の整備」は、図書館やコミュニティ施設の持つ「学びを深められる」という施設の特性に着目した項目として記載しております。ご意見の趣旨を参考に、「施策の展開 22 多様な主体が連携した学びの場づくり」等の施策を進めてまいります。
8	恵庭市が実施して成功している、市民参加による「まちじゅう図書館」制度を札幌市でも実施すべき。	札幌市では関係機関やボランティア団体と連携した講演会や展示、本の読み聞かせや各種イベントを行い、市民との協働による図書サービスの充実に努めております。今後施策を推進する上で、ご意見の趣旨を参考にさせていただきます。
9	少子高齢化、高齢社会、18歳選挙権、18歳成人の検討、75歳高齢化の検討等の動きを「時代の変化」の内容に加えてほしい。	「施策の展開 21 時代の変化に対応した生涯学習施設の運営、機能強化」では時代の変化の内容について言及しておりませんが、ご意見をいただいた内容については、時代の変化に含まれる内容として認識しております。

No.	意見概要	札幌市の考え方
10	「ヴァーチャル図書館」も考えられる時代に、何故に屋根付きの「場」が今後必要なのか、ネット社会の中で「場」というものの存在がいかにあるべきかを考えてほしい。	ご意見の趣旨を参考にしながら、「施策の展開 17 情報提供・学習相談体制の充実」及び「施策の展開 20 身近な地域で学びを深められる環境の整備」を進めてまいります。
11	事業の例にある、「オリンピック・パラリンピック教育」という言葉に上からの目線である印象を持った。「札幌オリンピックミュージアムのオリンピック・パラリンピックに関する市民への情報と学習機会を提供する拠点としての活用推進」としてはどうか。	「オリンピック・パラリンピック教育」は、2020年の東京オリンピック開催に向け、国としても推進している取組で、オリンピック・パラリンピックの理念や価値を人々に理解してもらうための学びであり、スポーツを基盤とした平和で多様性を認め合う社会の構築につながるものです。ご意見の趣旨を参考に、札幌オリンピックミュージアムの活用を推進し、オリンピック・パラリンピックが市民の皆様にとって身近なものとなるよう、情報発信や学習機会の提供に努めてまいります。
12	カフェスペースのあるコンビニも増えている。生涯学習関連施設の概念を広げて、「コンビニとのコラボによる学習の場づくり」を実施してはどうか。	民間企業等の様々な主体と連携し、学習機会を構築する視点については重要と認識しており、ご意見の趣旨を参考に、「施策の展開 22 多様な主体が連携した学びの場づくり」等を推進してまいります。
13	生涯学習センターでの公開講座に企業、大学等をもっと引き込む必要がある。また、人づくり・まちづくりのためには、色々な世代が交流できることが大切。	ご意見の趣旨については、事業の例である「生涯学習センターにおける、行政・大学等高等教育機関・市民活動団体・企業等が連携した学習機会の構築」を進めるにあたって参考とし、生涯学習センターで行われるさっぽろ市民カレッジの内容の充実に努めてまいります。また、今後各種事業を進めるにあたって、世代間交流で学び合う視点についてのご意見を参考にさせていただきます。
14	現代の生活様式の多様化、情報入手の多元化を考慮すると、市民のニーズに応じた連携をするだけでは不十分では。	多様な主体との連携を進めるにあたっては、市民ニーズに応えるという視点のみならず、社会的課題解決への効果的なアプローチ等、多角的な視点で取り組んでまいります。
15	学校図書館調査で図書標準と専任学校司書の達成率はどの程度かを開示したうえで、小中学校に関する取組を推進すべき。	学校図書館図書標準については、大半の学校で達成しております。また、札幌市では、学校図書館の運営の充実に資する学校図書館司書を、平成31年度までに全ての市立中学校に段階的に配置しているところです（平成29年度は97校中60校に配置する予定）。なお、札幌市では、全ての市立幼稚園・学校において読書に関する活動に取り組んでおりますが、ご意見を参考に、今後も小中学校における読書活動の取組の推進に努めてまいります。

No.	意見概要	札幌市の考え方
16	学校や大学を開放することによるコミュニティづくりが活発になっているので、その旨加えるべき。(類似意見他1件)	学びの場づくり・コミュニティづくりにおいて、学校や大学施設を活用する視点は重要と認識しております。ご意見の趣旨は「施策の展開 22 多様な主体が連携した学びの場づくり」を進めるにあたって、参考とさせていただきます。

第5章 構想の推進のために

No.	意見概要	札幌市の考え方
1	「生涯学習をしている人の割合」「生涯学習をしている人の中で、現在の学習や活動の環境に満足している人の割合」を成果指標とするにあたっては、アンケート調査をする際に学習内容の具体例を示すなどして、わかりやすい設問とする工夫が必要。	現在までに行ってきた市政世論調査では、「生涯学習への取り組み」という設問において、選択肢として「芸術・工芸・芸能・音楽に関すること」「健康・スポーツに関すること」などを設定し、学習内容の具体例を示してきたところです。今後、アンケート調査を行うにあたっては、ご意見の趣旨を参考に、わかりやすい設問内容について検討してまいります。
2	「札幌市生涯学習総合推進本部」とはどのような組織・構成なのか、解説や説明を加えるべき。	資料編として「札幌市生涯学習総合推進本部」についての説明を添付しております。
3	北海道で策定された「第3次北海道生涯学習推進基本構想」との内容のすり合わせは行われているのか。また、北海道でも「道民カレッジ」等の生涯学習事業が札幌市内で展開されていることや、まちづくり戦略ビジョンで謳う「北海道の未来を創造」する人材を育成する観点から、道との連携を図る旨の記述を追加する必要がある。(類似意見他1件)	構想の内容を検討するにあたり、「第3次北海道生涯学習推進基本構想」の内容と齟齬がないように考慮しております。また、構想の中で連携すべき主体に、当然北海道は含まれていると認識しております。ご意見については、今後各施策を推進するにあたって参考とさせていただきます。
4	施策の進捗度合を市民アンケート等で把握するため、「進捗率」等の目標値が必要。(類似意見他1件)	構想は札幌市の生涯学習の推進を図るための方向性とビジョンを示すものであることから、事業については例示にとどめているため、個別の施策についての目標値の設定は行っておりません。構想の進捗管理については、「第5章 構想の推進のために」の方法で進め、構想の実施状況を毎年度ホームページ等で適宜公表いたします。

その他の意見

No.	意見概要	札幌市の考え方
1	時間的、経済的な事由により学習機会が持てないことに対して、善処の道筋が示されていない。生涯学習を行っていないことを課題とする前に、障壁になっている要因を取り除くことを考えるのが行政としての役割ではないか。(類似意見他1件)	ご意見の趣旨については、「施策の展開 16 全ての人に開かれた学びの環境づくり」の推進にあたって考慮し、それぞれの置かれている立場や環境等の違いに関わらず学習できる環境づくりを進めてまいります。

No.	意見概要	札幌市の考え方
2	生涯学習推進構想に関する説明会など、生涯学習を普及する公開講座等の取組を期待する。	市民のライフスタイルに合った様々な広報媒体を活用し、生涯学習の理念の更なる普及・啓発に努めるとともに、本構想に基づき、地域での多様な学びの機会の提供を更に進めるなどの具体的な取組を展開することで、市民に生涯学習の意義や重要性を伝えてまいります。
3	構想はどのように事業・取組に反映されるのか。	今後、各施策を推進することにより、構想の具現化を進めてまいります。
4	現在行われている学校図書館の活動をどのように評価し、今後生涯学習の核としてどのように連携するのか。	「施策の展開 20 身近な地域で学びを深められる環境の整備」において、「『知の拠点』としての図書館が果たすべき役割」として「学校教育へのサポート」を掲げているとおり、今後の生涯学習推進体制の再構築の検討を進める中で、内容を具体化してまいります。
5	ちえりあは西区にあり、必ずしも多くの市民が利用しやすいとは言い難い。「ちえりあ」で行われる講座が各区ごとに巡回で行われるなど、市民が気軽に広く参加できる体制が必要。	「施策の展開 20 身近な地域で学びを深められる環境の整備」において、市民に身近なコミュニティ施設や図書館で学びの場づくりを進めるとともに、「施策の展開 18 学びを支える人材の発掘・紹介、出前講座の展開」を進め、市民自身の「学びたい」という希望に応じて学習機会を提供できる仕組みの充実に努め、市民が気軽に広く参加できる学びの機会づくりに取り組んでまいります。
6	生涯学習を年齢で区別すべきではなく、「学習成果を仕事やボランティア活動につなげるのか」それとも「生活を心豊かにするための学習の機会を提供するのか」に分けて考えるべき。	本構想では「学習成果を仕事やボランティア活動につなげること」「生活を心豊かにするための学習の機会を提供すること」のどちらも生涯学習として推進していくこととしております。
7	「ちえりあ市民講師バンク」などの生涯学習を支えるシステムや、生涯学習の意義を広めるため、広報誌やポスターだけではなく、テレビ番組等を活用した広報が必要。(類似意見他1件)	市民のライフスタイルに合った様々な広報媒体を活用し、ちえりあ市民講師バンク等の取組や、生涯学習の意義を広報するとともに、本構想に基づき、地域での多様な学びの機会の提供を更に進めるなどの具体的な取組を展開することで、市民に生涯学習の意義や重要性を伝えてまいります。
8	生涯学習の推進にあたり、行政の指導者に実務体験者が少ないことが課題。	いただいたご意見の趣旨を参考に、各種研修の受講や各種取組への参加等により、生涯学習を推進する職員の資質向上に努めてまいります。
9	生涯学習の推進にあたり、情報不足が課題。	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、「施策の展開 17 情報提供・学習相談体制の充実」等において、効果的な情報収集・提供の在り方を検討してまいります。

No.	意見概要	札幌市の考え方
10	生涯学習の取組を行うにあたり、施設の開館時間、活動内容の制限、使用料の高さが弊害となっている。	ご指摘の項目については、各施設の設置目的に応じ、各施設の設置条例において定められているものです。今後も、利用者の声を反映しながら、各施設の効果的な運営に努めてまいります。
11	団体として生涯学習の取組を行うにあたり、活動資金不足を感じている。	札幌で活動しているボランティアやNPO団体など、様々な分野の市民活動団体を支援する総合拠点である市民活動サポートセンターにおいて、各種助成金制度をご案内しております。
12	生涯学習の取組を行うにあたり、町内会・自治会などへの行政の側面的指導力の不足を感じている。	札幌市では、セミナーによる情報提供や意見交換会等の実施、各区の裁量によるまちづくり活動の支援等を通して、町内会・自治会への側面的支援に努めております。いただいたご意見を真摯に受け止め、今後も取組を進めてまいります。
13	「学習」と「学び」の二つの言葉が使われており、意図を持って使い分けられている印象を受けたので、定義を明記した方が良い。	基本的には「学び」も「学習」も、意図的な学習活動という意味で用いております。ただし、「学び」という語については市民が学ぶ主体であることを強調する文脈で使用しております。
14	市政世論調査からは市民側の需要が明らかにならず、市民を一方的な啓発対象、あるいは労働力供給源と見なすかのような行政ニーズ先行の施策が目立つ。市民が必要とする学びと、行政が市民に期待する学び、現実的に折り合える点はどこなのか、整理することが必要。	市政世論調査結果から、「身近な地域での学びの場が求められている」等の事柄を、今後の生涯学習に求められていることとして整理したところです。いただいたご意見を真摯に受け止め、今後も市民の学びの需要に応える生涯学習施策の推進に努めてまいります。
15	構想は策定の主体となる機関について明記すべき。	構想の策定主体は札幌市となります。表紙に策定者を明記いたします。
16	多様な社会なので、行政だけが担っていくべきではなく、市民一人一人の意識の醸成と官民一体になった協働の取組を期待する。経済的な発展へ、社会全体が良い関係性をもって、豊かな未来を創造できるまちにつながっていくことを期待する。	(原案賛成意見)

